

浅野温子語り舞台® 「日本神話への誘い」®に期待

今年100周年を迎える「笠間の菊まつり」の記念イベントの一つとして、女優浅野温子さんの語り舞台が、9月29日に笠間稲荷神社の境内で行われます。2003年に伊勢神宮から始まったこの公演は、夜の神社の神秘的な雰囲気の中、浅野さんが一人、日本神話を語る幻想的な舞台です。



笠間稲荷神社稲光閣にて打ち解けて話す埴宮司、浅野さん、市長(左から)

その公演発表のため、7月1日、笠間市を訪れた浅野さんと、笠間稲荷神社埴宮司、山口市長による鼎談(※)が和やかに行われました。
※鼎談：三人が向かい合って話をすること。

公演への期待

埴宮司：笠間稲荷神社の神様、イコールお狐さんというイメージがあります。が、そうではなくて、今回の舞台によって、日本の尊い神様(御祭神・宇迦之御魂神)であるということを正しく理解していただけるのではないかと思っています。

浅野温子さんには、古事記の語り部「平成の稗田阿礼」として期待しています。
山口市長：今回、菊まつりの100周年事業の一つとして、浅野さんの語り舞台が開催されることは、市にとっても大きな期待です。市として、全国的にも長い歴史のある菊まつりを飛躍させたいと考えていますし、神話に触れ合う機会が少ない今の子どもたちにとっても、日本の国の生い立ちを知る一つの手段としてこのような舞台はおもしろいと思います。菊まつりの前夜祭

として大いに期待しています。

演目と公演の抱負

浅野さん：演目は天照大御神の「三岩屋戸」と須佐之男命の「ヤマタノオロチ」の2本です。「天岩屋戸」のお話から、高天原から追放され、下界に降りて来て、ヤマタノオロチを退治する天照大御神の弟の須佐之男命のお話につなげたいと思います。笠間稲荷の御祭神は宇迦之御魂神で、須佐之男命はお父様にあたります。ぜひ、稲荷神社の御祭神の前で、お父様の話を見せていただきたい。そして、この笠間稲荷神社さんにたくさんの方が来てくれたらうれしいなと思います。

公演を通じてお客様へのメッセージ

浅野さん：日本人が作ったお話って、こんなにおもしろいんだって思っていた。だいたい、日本の一番古い物語である神話をもっともって聞きたいと、お客さんに思っていた。できるだけ舞台にしたいです。それをつなげていって、みなさんの力も借りて、この語りを何回でも続けていけたらうれしいと思います。そして、八百万の神と言いますけど、日本全国に八万何社とある



舞台への抱負を語る浅野温子さん

神社を全部回りたい。それが夢です。それには、みなさんの大きな力や声が必要なのでよろしくお願いします。

浅野温子語り舞台® 「日本神話への誘い」®

日時▼9月29日(土)午後6時15分
開演

場所▼笠間稲荷神社拝殿前

入場料▼2,000円

申込み▼8月31日(金)までに、往復はがきに【住所・氏名・性別・年齢・職業・電話番号】を明記して左記へ。

問合せ▼笠間稲荷神社語り舞台公演事務局(T309-1611)

笠間市笠間1

☎0296(73)0001

笠間の菊まつり

期間▼10月13日(土)～11月25日(日)まで